

## 武豊町地域公共交通会議 第27回 議事録

日時：平成29年12月20日（水）

13：30～15：30

場所：第5・6会議室

○司会（防災課長）

- ・ただいまから「武豊町地域公共交通会議」の第27回会議を開催させていただきます。
- ・それでは、会議資料の次第に従いまして、取り進めさせていただきます。
- ・はじめに、開会にあたりまして、会長であります、初山芳輝武豊町長よりごあいさつさせていただきます。

### 1. 会長あいさつ

○初山町長

- ・こんにちは。年末のご多忙の中、武豊町地域公共交通会議に参加いただきありがとうございます。
- ・また、平素はそれぞれのお立場から町政にご協力頂き感謝申し上げます。
- ・コミュニティバスの利用実態について報告させていただくと、11月1か月について昨年と比較すると103人増加しており、順調に推移しています。また、7月の利用実績が5,000人を超えました。住民の生活の足として利用されています。
- ・乗合タクシーについては、概ね100人以上の利用がされており、こちらも地域に根付いていると言えます。
- ・NPO法人のエンドゴールにより作成されたゆめころんのオリジナルソングについて、保育園への出張訪問で人気となっており、保育士さんが踊りの振り付けをしてくれました。親しんで頂いていると感じます。このおどりを広めるための広報の仕方についてもご意見をいただければと思っています。
- ・本日の議事ですが、報告事項2件、議案2件を予定しています。
- ・皆様からの忌憚のないご意見をよろしく願います。

○司会（防災課長）

- ・委任状を2名の委員の方からいただいており、代理出席していただいております。5名の委員の方から欠席の報告を受けておりますが、過半数を超える委員の方のご出席を頂いておりますので、規約に定める（第6条第3項）開会要件を満たしております。

### 2. 議事

#### ●報告事項1 武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績について

○伊豆原座長

- ・議事のとり進めをさせていただきます。
- ・限られた時間ですが、みなさまのご協力よろしくお願いたします。
- ・報告事項1の「武豊町コミュニティバス・タクシーの利用実績」につきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局

・資料説明

○伊豆原座長

・ありがとうございました。この「バス・タクシーの利用実績」につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。

○杉本委員（愛知運輸支局）

・資料1のバスの利用実態について順調に伸びている。数字をみるとやりがいがある、うれしく思う。ゆめころんの取組みはよいものと認識している。  
・乗合タクシーについて、増えているところがあるが、まったく利用のないルートがある。砂水ルートなど。27年度に利用があったがいまはない。長峰、桜ヶ丘なども同様。今後の方向性について、利用のされるところにシフトさせるなどの取組みを進めて欲しい。

○事務局

・ルート再編、停留所の変更を行う場合は、今の指摘をふまえて対応していきたい。

○伊豆原座長

・伸びている場所、効果について事務局の意見を伺いたい。

○事務局

・運賃収入の増加はうれしい限り。補助金が減少するなかで、財政をカバーできている。運賃収入の拡大だけが目的ではないが、利用者増を進めたい。

○伊豆原座長

・利用者から意見を聞いていないか。

○事務局

・イオン半田店への乗り入れで、乗降客数ベスト3位に入り、そうしたニーズへの対応で利用者増に結びついていると思う。

○伊豆原座長

・地域の要請をうけて対応しているということ。イオン半田店への乗り入れについては、半田市の他のネットワークとの乗り継ぎも検討されるとよい。  
・その他意見ありますか。無いようなので次の議事に移ります。

## ●報告事項2 南部青ルートバス停留所別利用実績について

○伊豆原座長

・事務局から説明をお願いします。

○事務局

・資料説明

○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。この「青ルートバス停留所別利用実績」につきまして、偏りがあるようです。ご意見、ご質問はありませんか。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・市原、市原農村広場は利用が少ない。みゆき通りも乗車が少ない。降車だけというのは、他の手段を利用されていると思う。地域交流センターなどは、利用が増えている。一度利用された方を逃がさないように利用促進を進めて欲しい。

○山田委員（タクシー協会）

- ・市原農村広場は、以前より少し利用が増えたところ。市原は時間の経過とともに減少している。変動要因になるようなことがあるか。

○事務局

- ・資料5にルート図がある。市原は、西側へのルート変更で大回りになった場所。片方向の巡回なので、時間がかかるなどの影響があったかもしれない。
- ・地元を確認して停留所位置の改善方法について検討したい。

○伊豆原座長

- ・停留所別の利用者数の比較で、一桁以上の開きがあり、大きく違う。地域の声を聞いて、きめ細かく対応していただく必要がある。青ルートの再編について、地域の実情を確認して、事業を進めてください。
- ・報告事項を確認いただいたとして、次の議事に移ります

#### ●第1号議案 中間評価・事業改善を兼ねたアンケート調査の実施について

○伊豆原座長

- ・第1号議案の「中間評価・事業改善を兼ねたアンケートの内容」につきまして、事務局から説明をお願いします。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・この「中間評価・事業改善としての利用者アンケートの内容」につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。

○青木委員（長尾部長）

- ・利用者数を増やすために利用者以外のアンケートはしないのか。利用しない住民に具体的に要望を聞きたいが。

○事務局

- ・住民アンケートは、企画政策課の定期的に行うアンケートで対応する予定。具体的な意見を聞く設問はない。今回は中間評価という位置付けで、住民アンケートは定期調査で代替する予定。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・アンケートの実施方法について、調査員が乗り込むのか。ルートの利用時間帯・乗り継ぎについて具体的に聞けないか。満足度はゆめころんのみか。

○事務局

- ・調査員が乗り込み調査票を配布する予定。コミュニティバスの利用者を想定する。
- ・乗合タクシーの利用者の意見は実施方法を検討したい。

○伊豆原座長

- ・他の運行ルート方法などを考えるのか。

○事務局

- ・新しいルートの検討を行いたい。

○伊豆原座長

- ・今回は中間評価の位置づけで行うもの。これまで、いろんな施策を行ってきた。
- ・それぞれの取り組みの効果までは必要がないが、取り組み、施策を知っているかどうか、PRをしていくことも大切。それらを知ってもらって、満足度を確認しておくべき。

○事務局

- ・平成25年度調査から新たに追加した4頁がその目的で整理した部分。

○伊豆原座長

- ・知っている 知らないの確認だけでなく、知っている人は追加要望を、知らない人でも新たに行うべき提案を求める質問を設定してほしい。

○事務局

- ・追加意見をもらう工夫を考えたい。

○古田委員（バス協会）

- ・資料4-3の4頁の間5について。新しい取り組みについて聞いているので、その他の新しい取り組み、アイデアをもらう。
- ・問3の（2）で便利になった点を聞いており重複している。整理すべき。

○事務局

- ・指摘をふまえて修正、検討したい。
- ・乗合タクシーの対応方法についてご存じであれば、教えて欲しい。

○伊豆原座長

- ・同様の乗合タクシーの事業を行っているのは、安城市、三好市。同じような利用者アンケートや評価をしているのではないか。

○櫻場委員（利用促進友の会）

- ・アンケートの中に、こんなことをやらせてもらえたら乗りたいという意見を聞いてほしい。乗りやすくなるための意見を聞いてほしい。

○伊豆原座長

- ・アンケート調査の実施は少し後でよいと思うので、指摘のご意見を整理して、修正対応をお願いしたい。
- ・中間評価ですので、聞きたいことはいっぱいあるが、この程度で進めましょう。
- ・結果をどのように住民に報告していくのか、料理する方法も考えて欲しい。指摘の点をふまえて対応をお願いします。

## ●第2号議案 平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価について

○伊豆原座長

- ・第2号議案の「平成29年度地域公共交通確保維持改善事業の自己評価」につきまして、制度概要について愛知運輸支局から説明をお願いします。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・資料5-1は中部運輸局で独自に作成を要請しているもの。
- ・コミュニティバス赤ルートは幹線系統、青ルートはフィーダー系統の補助金を使っており、自己評価を行い国に提出することが義務付けられている。評価にあたっては、鉄道やタクシーをふくめてネットワーク、面的に検討することを中部様式は要請している。
- ・第三者評価委員会を設置しており、第三者による評価を行う仕組みをもっている。

○事務局

- ・資料説明

○伊豆原座長

- ・第2号議案の「自己評価」につきまして、ご意見、ご質問はありませんか。

○桑原委員代理（愛知県振興部交通対策課）

- ・資料5-3について補足したい。
- ・複数市町村にまたがる地域間幹線系統については、県の協議会で自己評価することとなっている。
- ・昨年度様式を変え、関係市町事業者のコミュニケーションを取りやすくした。
- ・本日の会議での議論は県の協議会に反映させていくので忌憚のない意見を。

○伊豆原座長

- ・県からも資料の補足がありました。ご質問ご意見ありますか。

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・中部様式の2頁について、公共交通の姿の部分は、箇条書きに統一してほしい。
- ・3頁の再編後のネットワークについて30年9月を29年9月に。
- ・網形成計画の自己評価についても対応して頂きたいので、計画全体の評価の整理を行い、その後にフィーダーの評価を整理してほしい。アピールポイントは具体的な取り組み事項を示したかどうか。
- ・対応方針について、具体的な取り組み内容を示してほしい。
- ・様式2について、表彰は必要がなく、ベンチ設置、ツアーなどの取り組みを具体的に表現してほしい。
- ・国の様式は、運行事業者はレスクルに変更しておくこと。

○事務局

- ・指摘ありがとうございました。修正させていただきます。

○伊豆原座長

- ・よかった点もしっかり示しておくべき。評価されて利用されているので、取り組んでよかったことも示しておく。取り組みをチェックして次のステップに移るため。アピールポイントで示しておけばよい。こうした取り組みが行われている事例は少ないです。

○南委員（議会議長）

- ・数字をみると、まだ乗っていない人をいかに取り込むかということが重要ではないか。
- ・地方創生の議論では、人口が減っていくことへの対処を議論している。そうした点をふまえて取り組んでほしい。

○伊豆原座長

- ・少子高齢化人口減少問題をふまえると、バスは元気でないに乗れないもの。元気なうちに乗ってもらって、生活の中に位置付けてほしい。高齢者が車にのれなくなったらバスに変えると言うが、車の運転をやめる時にはバスにも乗れない。今からバスが使えるように、シニアクラブなどでPRしてもらいたい。
- ・保育園の子供たちにゆめころんの歌、振り付けの報告がありましたが、子供と一緒に大人に乗ってもらったと思う。
- ・委員から指摘のあった点について整理いただく。この資料は、中部運輸局に提出する期限が来月18日までと聞いており、修正した資料を再度この会議を開催して確認することは難しい。事務局の修正を、私はもちろん、会長と確認させていただいて、国等への提出を了承したいがよろしいか。

<異議なし>

○伊豆原座長

- ・承認ありがとうございます。修正し国に提出した資料は委員に配布いただくようにお願いします。

### 3. その他

#### ●武豊町コミュニティバス利用促進友の会の活動について

##### ○伊豆原座長

それでは、3. その他に移ります。利用促進友の会の活動について櫻場委員よりご報告願います。

##### ○櫻場（利用促進友の会）

- ・最近の活動について報告したい。12月9日にそばうちと史跡めぐりのツアーを募集した。そば打ちツアーは満杯。史跡めぐりツアーは、赤ルートは何度もやっているので少し利用が少なかった。
- ・毎月ぶらりミニツアーを開催している。憩いのサロンを通して募集をしており、サロンの前後で地域交流センターに行きお昼ご飯を食べるツアーを開催している。バス停で待ち合わせしランチ後に憩いのサロンに行くケースは利用が少ない。また、憩いのサロンの後にツアーを行うケースは冬は暗くなり難くなる。
- ・友の会で聞き取りアンケートを実施した。97名から回答を得ている。60歳、70歳台の利用が多い。利用回数は3回以上の利用が多い。目的は買い物か3分の1、病院も多い。利用したことがない人にも意見を聞くと、車が利用できるからとの回答が80%を占める。利用経験のある人に利用しにくいことがないかを聞くと、近くにバス停がない、行きたいところにバス停がない、まち時間が長いという指摘が多い。利用したことのない人の意見は、近くにバス停がない、行きたいところにバス停がないという意見が多く、利用の有無にかかわらず同じ意見が多かった。以上がアンケートの結果です。
- ・時刻表を掲示してらうように、バス停近くの施設に要請している。

##### ○伊豆原座長

- ・ありがとうございました。アンケート結果についてバス停が近くにないという意見が気になった。

##### ○櫻場（利用促進友の会）

- ・基本バスというのは乗りにくいもの。停留所は限られなかなかこない。便利にするには、お金はかかるが便数を増やすしかない。今のままでは免許返納はできない。
- ・個人負担を増やしてでも便利な環境にすべきで、バスではなく、乗合タクシーで対処してもよい。
- ・具体的なタクシー整備について議論する場がほしい。利用しやすい環境をつくるための議論する場が欲しい。例えば、月単位でタクシー会社と包括利用契約を結ぶなどの具体的な議論をしたい。

##### ○山田委員（タクシー協会）

- ・相乗りタクシーや乗り放題（定期）のメニューの打ち出しもある。東京では実証実験を始めると聞く。スマホの配車アプリをつかって、複数の利用者をマッチングする取り組み。
- ・こうしたタクシー事業は、都心部ではなく、地方部でこそ必要なものと思う。清算もスマホで行い、こうした仕組みを地方ほど考えないといけない。地方にあうシステムをつくらないといけない。
- ・現状は手探り状態ではあるが、交通会議で議論できればと思う。

##### ○櫻場（利用促進友の会）

- ・相乗りして個人の負担が少なくなれば、利用が増えるはず。トータルで見れば全体の利用が進み、事業者側もよくなると思う。

○山田委員（タクシー協会）

- ・タクシーの全国組織（一般社団法人全国ハイヤー・タクシー連合会）では、ホームページに活性化方策<sup>\*</sup>を示している。相乗り、月契約乗り放題など。事業者側でもそうした対応を進める必要があり、まだ議論が足りないと思っている。

※タクシー業界において今後新たに取り組む事項について

[http://www.taxi-japan.or.jp/pdf/Taxi\\_Challenge\\_2017.pdf](http://www.taxi-japan.or.jp/pdf/Taxi_Challenge_2017.pdf)

○伊豆原座長

- ・事業者と直接お話しする場がない。東京には実験例があるが、地方の方がやる意義がある。自動運転も同じ。事務局では、議論できる場をつくって情報交換をしてもらうことを考えてください。

#### ●保育園と協力して作成したゆめころんのうたのおどりについて

○伊豆原座長

- ・保育園と協力して作成したゆめころんのうたのおどりについて、事務局より説明願います。

○事務局

- ・オリジナルの踊りをつくっていただいた。出張訪問で園児にも踊って頂いている。ユーチューブにアップしている。

○伊豆原座長

- ・子供と一緒にご父兄が乗ってくれると良いですね。話題にしてもらえればと思う。

#### ●ペットの乗車について

○事務局

- ・ペットと一緒に乗車できないかとの要請があった。他の事例を参考に、ゲージに入る動物（ペット）で、他の乗客に迷惑がかからない場合のみ乗車を許可する対応とした。

#### ●中部運輸局：乗合バス事業者に対する集中監査実施結果について

○杉本委員（愛知運輸支局）

- ・資料説明
- ・違反内容としては、連続運転、点呼未実施がおおかった。

## 4. 閉 会

○初山町長

- ・長時間にわたりご意見をたまわりありがとうございました。今後の参考にしたい。
- ・利用促進友の会、櫻場委員については、活動ありがとうございます。そばうちツアー、憩いのサロンのサロンを通した活動など助かります。
- ・協議する場もないということでしたので、時間を持てると良いと感じた。検討をすすめたい。
- ・本日の意見を参考に、利用したいバスに、住んでみたいまちにできるようにしていきたい。
- ・ゆめころんの歌や踊りもいろんな場面で披露できるとよいと思う。



・本日は長時間にわたりありがとうございました。

○事務局

・以上をもちまして「武豊町地域公共交通会議」の第 27 回会議を終了させていただきます。ありがとうございました。

以上